

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		摂食及び嚥下機能の低下などによる誤嚥性肺炎の予防	言葉が出にくくなり意思の疎通が取りづらくなってきた人や飲み込みが悪くなってきた人の支援をする	○口腔内の衛生管理に努める(歯磨き、うがいなどの口腔ケアをしっかり行う) ○口腔体操を続けていく ○その人にあった食の支援を行う(食べる楽しみを大切にする、食べやすい状態に工夫する、水分摂取を促す(一日150mL目標))	3ヶ月
2		利用者様に楽しみを持っていただき、生活にメリハリをつける	地域の方々の協力を得てボランティア等、月に2回程の楽しみを持つ	あかり通心等でボランティアの方を募り四季の変化を感じて頂けるよう外出をする	3ヶ月
3		運動不足のため、足のむくんでいる利用者が多い	ADL維持と向上を目指し脳と身体を刺激することで全員の歩行が安全に行えるようにする	水分補給をする時など5～6分でも良いので足の運動をする(運動する項目を勉強する)	3ヶ月
4		全体的にADLは低下してきているが、出来ないだろうと決め付けて必要以上に職員が介助しているかもしれない	『出来ないだろう』ではなく『出来るかもしれない』と、小さなことで良いのでひとつでも多く見つけ、継続していただく様に促していく	一人ひとりの行動を細かく観察し今まで出来ないと自分が思い込んでいた考えを改め、ご本人にまずして頂き出来ない場合は他の職員と相談し一緒に考えることを重ねていく(服の着脱、義歯の出し入れ、縫い物など)	3ヶ月
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。